１．教育計画　　公衆衛生看護学

分野	専門分野　公衆衛生看護学	科目名	障がい者保健活動
単位・時間	１単位・１５時間	対象学年	３年生
方法	講義	時期	後期
講師名 （担当授業時間数）	当事者の視点から　外部講師　あいえるの会　（２時間） 地域保健活動の実際　外部講師　郡山市保健師　（２時間） 障がい者保健活動　専任教員　平田　あかり　（10 時間）		
講師の実務経験	平田：看護師として星総合病院に 10 年３ヶ月勤務		
学習目標	障がいの概念と対策を知り、基本的考えを理解する。 障がいを持つ人や家族への具体的支援の内容と方法を理解する。		
成績評価方法	筆記試験 100 点 出席状況、授業態度も評価に含みます		
使用テキスト	標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動論（医学書院）		
参考文献	国民衛生の動向 公衆衛生が見える 保健師業務要覧（日本看護協会）		
履修上の留意	障がい者福祉について復習して臨む		
講師からの メッセージ	地域の中で障がいを抱えて生活する対象者を「生活者」として捉え、対象者を個人として尊重した支援を学びましょう。		

２．授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	障がい者(児)保健活動の理念	ノーマライゼーション 障がい者(児)の定義 障がい者(児)保健福祉施策の歴史的変遷	講義	平田
2	2	障がい者(児)保健福祉施策	関連法規　障害者総合支援法 障害者の手帳	講義	平田
3	2	障がい者保健における保健師の役割	保健師活動の根拠 保健指導の考え方と視点	講義	平田
4	2	難病保健福祉施策	難病対策の動向	講義	平田
5	2	難病患者の生活と保健指導	難病の在宅療養 地域サポートシステムの構築と社会資源	講義	平田
6	2	地域保健活動の実際	保健活動の実際	講義	外部講師
7	2	当事者の視点から	障がいと共に地域で暮らすということ	講義	外部講師
8	2	評価	筆記試験		平田